

教職コンソーシアム通信

# 学びの架け橋



人にまっすぐ。  
大阪教育大学

**01** 大教大キューピッド

**02** リレーエッセイ

**03** 交流事業の紹介

**04** 加盟校出身学生・卒業生の紹介

**05** 加盟校の取り組み紹介

**06** 大学トピックス／編集後記

## 母校と大阪教育大学をつなぐ 「大教大キューピッド」

学生が大学と出身高校をつなぐプロジェクト「大教大キューピッド」。新しい仲間も加わって、大教大の魅力を皆さんに伝えにいきます。



## 高校生と高校が大好き！ そんな動機もありですよ

大阪府立寝屋川高等学校 村田 純子

私は、高校生がそして高校そのものが大好きです。そして、笑われてしまいそうですが、青春ドラマに憧れて…なんていうとてもミーハーな理由で、高校教員をめざしました。

ちょうど多感な小学校高学年から中学校にかけての頃、高校が舞台の青春ドラマ真っ盛りでした。まずは「おれは男だ」です。今では千葉県知事の森田健作さんが主演で、主人公が名門女子高としての歴史が長く共学になって日が浅く男子生徒の人数も少なく女子生徒が主導権を握っているような青葉高校で、悪戦苦闘しながら、徐々にお互いを理解し合える関係を築いていく、というようなストーリーでした。女子小学生の私は、当時としては珍しい女子が主導権を握っている様子や、登場する才色兼備で凛としてかっこいい女子生徒に憧れわくわくしドラマにどっぷりはまり、気が付けば高校生と高校が大好き少女になっていました。そうそう、余談ですが、ライバル校の剣道部キャプテンも格好いい女子生徒で、その学校にはフォーリーブス(今のジャニーズの大先輩)が在籍しているなんていう現実ではなかなかありえない設定でしたが、小学生の私には憧れ以外の何物でもありませんでした。

その後も、「とびだせ青春」「われら青春」というような青春ドラマが続き、高校生と教員が、時にはぶつかり時にはともに泣きながら信頼関係を築いていく姿に、女子中学生の私もまたまたどっぷりはまり、ますます高校生と高校が大好きになっていきました。

なので、自分が高校生になったときは本当にうれしかったです。高校進学後も、自分の高校も高校生である友達も自分もそして高校教員である恩師の先生方も大好きで、高校で起きるすべてのことにわくわくドキドキし、欠点とって追

試を受けたことでさえキラキラの思い出です(笑)

そして、気が付けば「高校生が大好き！高校生の彼ら彼女らと人生を生き方を語り合える高校教員になりたい！」と思うようになっていました。実は「高校教員になりたい！」というのが先にあり、次に何の教科の教員になりたいかを考えました。ちょっと珍しいパターンなのかもしれませんが。何の教科にするか考えに考えて、家庭科教員を選びました。生徒が高校卒業後どのような人生を歩んでも生活の礎になる教科だと思ったからです。でも、今から考えたら当時の得意教科とは程遠い選択で、結構なチャレンジャーだったなあと思います。

そして今日まで、教員になってから出会った生徒・先生・保護者をはじめとするすべての人々とすべての経験に育てられたと思っています。しかし、それは今だからわかることで、その時々においては「この経験は自分の勉強になっているなあ」とか「この方との出会いが自分の成長に繋がっているなあ」とは、全然気づいていませんでした。

教職を目指す高校生のみなさん、きっとあなたも子どもたちが大好きですよ。あなたの今の経験は、嬉しいことも楽しいことも悲しいこともつらいことも、すべてが教員になったあなたの糧になるはずですよ。未来のあなたの大好きな教え子たちのために、今の経験を大切にしてくださいね！



村田 純子 むらた じゅんこ

大阪府立寝屋川高等学校校長  
前大阪府立野崎高等学校校長



## 英語らしく聞こえる発音を解説 箱崎准教授が泉陽高校で出前授業

英語教育講座の箱崎雄子准教授が、大阪府立泉陽高等学校で出前授業を行いました。夏休みにイギリス・ロンドンへ語学研修に行く1年生約40人に対し、「発音の基礎・基本ーこれだけで英語らしく聞こえるー」と題して講義しました。

「さあ、これらの日本語はどんな英語に聞こえますか?」。箱崎准教授は、「知らんぷり(Sit down please)」「苦渋(Could you)」「定休(take you)」など、英語らしく聞こえる日本語を「空耳英語」としてクイズ形式で出題し、笑い声が起こりながら授業がスタートしました。

「英語発音は、それぞれの単語の発音よりも文中での強弱が大切」と力説する箱崎准教授。「日本語では音節がどれもほぼ同じ強さと長さで発音され

ますが、英語の場合は発音の強弱がリズムカルに、一定の間隔で繰り返されます。ピコ太郎の『PPAP』は、こうした英語独特のリズムになっているから世界中に広がった」とし、これらを意識して発音するだけで英語らしく聞こえると説きました。

最後に、ジャズのリズムにあわせて英文を発音する「ジャズ・チャンツ」を紹介し、「聖者の行進“When the Saints Go Marching in”」を生徒と一緒に歌いながら、「英語らしく聞こえる発音」を実践しました。

受講した生徒は「イギリスでどんなふうにしたらいいのか不安だったので、この講義を聞いてよかった」「ジャズ・チャンツは面白かったし、先生の歌が上手なので驚いた」などと話していました。



## 加盟校出身学生・卒業生の紹介

まつい ちえ  
松井 千枝 さん教養学科文化研究専攻欧米言語文化コース4回生  
泉陽高等学校2013年度卒

—高校時代頑張ったことは？

ハンドボール部の活動です。チーム一丸となって勝利をめざす所が好きでした。地区大会で優勝したこともあります。細かいことが苦手で、なんでもバーンと当たっていくタイプなので、全身を使うハンドボールは性格に合っていました。

—教員を目指すきっかけは？

単純な理由ですが、学校が好きで、ずっといたいと思ったからです。海外に興味があって、中学校の英語教員になろうと決めました。私の大好きな先生が大教大出身で、教師になりたいと相談したら、大教大を勧められました。教員養成課程にしようか迷ったのですが、英語を専門的に深く学びたくて、教養学科を選びました。

—夏から1年間フィンランドに留学するのですね。

大学の交換留学制度を利用します。第二言語としての英語学習法や教育制度について学べます。私にとっては学校は楽しいところでしたが、学校に馴染めない子もいます。原因は家庭環境だったり、学校

生活そのものだったり色々だと思いますが、そういう子どもにフィンランドではどう対応しているのか調べたいです。

—どんな受験生でしたか。

受験勉強を始めたのが3年生の夏で、間に合わない焦っていました。すごく負けず嫌いなので、壁にぶつかったら、何をやるべきか調べて、とにかく出来ることから期限を決めてやってみる。カレンダーにシールを貼って、きちんとできた日はそれを見て達成感を得て、駄目だった日は反省していました。

—最後に、後輩へのメッセージを。

興味があったらなんでもやってみる。調べてみるだけでもいい、興味あることに一歩踏み出してほしい。自分のキャラじゃないとか、まだ若いのに枠を決めたらもったいない。私も含めて、もっと自分を開拓して行って、可能性の幅を広げられると思います。

さかい りさこ  
堺 理紗子 さん教養学科健康生活科学専攻4回生  
三国丘高等学校2012年度卒

—大教大を選んだ理由は？

もともと人体に関することに興味があったのと、テレビにすぐ影響されるくらい健康に関する情報にも関心がありました。そんな私に大教大出身で小学校教員をしている母が、養護教諭を勧めてくれました。養護教諭養成課程でなく教養学科を選んだのは、養護教諭一本で

いいの少し迷いもあったからです。健康生活科学だと中学・高校の家庭科の教員免許も取れるので、勉強してから決めようと思いました。

—環境保健学ゼミに所属していますね。

教員採用試験と研究の両立を後押ししてくれるゼミだと聞いたのと、指導教員である永井先生の人柄に惹かれて選びました。ゼミ生は、教員志望と企業就職志望の両方いますが、同じ進路の学生ばかりで固まったりしないので、色々な価値観や考え方も知ることができます。私は教員志望ですが、企業目線の考

え方を学べたことはとても良かったです。

—学外での活動は？

最近ボルダリングにはまって、週4日くらい通っています。塾のアルバイトや小学校でのボランティア活動をしたり、漫画から手話に興味をもって手話教室に通ったりもしました。興味を行動に移すと、世界が広がりますよ。

—すごい行動力ですね。

もし失敗しても、それは人生のほんの少し。私は1年浪人していますが、自分の将来をゆっくり考えるいい機会でしたし、その時出会った友人とは今も仲良しです。苦労もありましたが、そのおかげで今の進路を決めることができたので良かったと思います。

—後輩へのアドバイスを。

部活は一生懸命やって損はないです。高校でしかできないことは、その時やりきった方がいい。やりきったらそれは自分の力になるので、そこで培ったものをまた他のことに生かしてってください。勉強も大切ですが、広い視野を持って、残りの高校生活を楽しんでほしいと思います。



### 大阪府立清水谷高等学校

本校は、明治33年(1900年)に大阪府第一高等女学校として開校を認可され、明治34年(1901年)大阪府立清水谷高等女学校と改称されました。難波宮以来の歴史に包まれた上町台地の中心部、教育の場・学びの場にふさわしい落ち着いた文教地区にあり、大阪城を望む「古城の南」の「朝日ヶ岡」に中庭にあるシンボルツリー「くすのき」を囲むように校舎があります。



潔さと正義感をもった生き方を希求し、市民としての力量をもつおとなとしての成長、「時を守り、場を清め、礼を正す」自律的な人格の形成、他者の他者たる自己を見つめて人間関係を築く「対話」的な精神と他者を愛し他者を心から思う「愛と恕」の精神を涵養することを目標とし、学習活動・部活動・自治活動を教育活動の三本柱としています。

#### 国際交流活動

オーストラリア・パースのリビング・ウオター校との交流は、平成15(2003)年から行っています。昨年9月には、13名の高校生が本校生の自宅にホームステイしながら通学し、授業への参加・クラブ体験などの交流を行いました。今年度は、本校生徒がオーストラリアへ語学研修に出かけます。



また、昨年10月には、ドイツ・リュネブルグから訪問団を受け入れ、授業見学のあと両国の教育活動について熱心な意見交換の場を持つことができました。3月には本校合唱部がチェコ・プラハやリュネブルグ等への演奏旅行を実施し、合唱を通じて国際親善を深めることができました。

#### 教育活動の三本柱

**学習活動の充実** 真摯に学習に取り組む姿勢を身に付け、国公立大学や関関同立などの難関大学合格に必要な「自ら進んで学ぶ力」「内破する力」を育てています。

**部活動の充実** 文武両道の気風を引き継ぎ、技能はもとより集中力や人間関係を築く力を育てています。

**自治活動の尊重** 「自主自律」を旨として、体育祭や文化祭などのクラス活動を自ら作り上げていく力を育てています。

#### 高い学校満足度。120%めざして

毎年1月に「学校評価に関する調査」を実施しています。「清水谷に進学してよかったですか」という問いに対して、肯定的に回答した生徒が92%を超えています。

保護者に対するアンケートで、「清水谷高校は、子どもが入学してよかったと思える学校である」という質問には、平成29年1月では、学校平均で96%の方々から肯定的な回答をいただきました。高い肯定率は喜ばしい限りですが、肯定的ではなかった生徒や保護者の方の思いを受け止める努力を続け、満足度120%をめざしていきます。

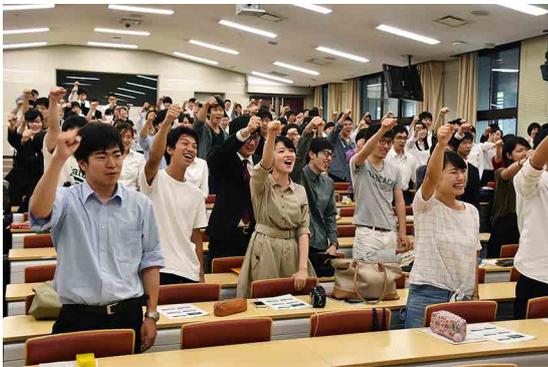
### いざ、教員採用試験へ。 壮行会を開催

7月から始まる教員採用試験に向け、壮行会を開催しました。学部生・大学院生を大学挙げて応援し、自信をもって試験に挑んでもらおうと初めて実施したもので、約200人が参加しました。

はじめに入口豊理事・副学長が「生涯賃金数億円の人材を決める試験なので、採用側も必死。これまでやってきたことを出し切ってほしい」と激励しました。続いて、今年3月まで大阪府教育庁で教育監を務めた和田良彦副学長が「直前セミナー」として、求められる人物像や面接のコツ、筆記試験対策などを講演。「教育だけでなくいろんなことに興味・関心を持っている人が求められている。もっと自分の良さをアピールしてほしい」とアドバイスを送りました。

最後に、手取義宏キャリア支援センター長の掛け声で、全員が「絶対合格するぞ！エイエイオー！」と拳を振り上げ、気持ちを奮い立たせました。

堺市の小学校教員を受験する学生は「面接ではありのままの自分を伝えようと思った。やれることは何でもやって、夢をかなえたい」と語りました。



### 山の日PRイベントに 「やまお」と本学学生が参加

林野庁・環境省が主催する山の日PRイベント「大阪のまちなかで山遊び！」で、本学理科教育専攻と美術教育専攻の学生がワークショップを行い、公式キャラクター「やまお」が来場者と触れ合いました。

理科教育専攻学生による「山の虫たちと触れ合ってみよう」では、柏原キャンパスの山で採集したモリチャバネゴキブリ、ヤマトシロアリ、ワラジムシを紹介。虫たちの山での役割を説明し、実体顕微鏡で観察しました。虫の習性を示した実演もあり、子どもだけでなく大人も歓声をあげて楽しんでいました。

美術教育専攻の学生は、紙すき体験「山のめぐみ！和紙すき大作戦！」を行いました。参加者は学生ら手作りの紙すき機で、色和紙をすき込んだり模様をつけたりと、オリジナルの和紙を創作しました。

「やまお」は来場者らと記念撮影し、昨年からはまった祝日である8月11日「山の日」をPRしました。

参加者は「やまおは山の日にぴったりのキャラ。しゃがんだ姿がかわいい」「学生さんたちが楽しく説明してくれてとてもよかった」などと話しました。



## 編集後記

7月11日付朝日新聞朝刊に、「次世代の教育者を生む『学びの架け橋』」と題して、大阪教育大学の広告が掲載されました。一面の半分以上を占めるのが「府立高校教職コンソーシアム」の取り組みです。

府立高校の皆さんと築いてきた「学びの架け橋」を680万部発行の朝日新聞に掲載できるとは、3年前には思ってもみなかったことです。このメルマガのタイトルである「学びの架け橋」は、私がネーミングしました。ゆずの『栄光の架け橋』をもじっただけですが、新聞に載せてもらえるほど有名になってくれるとは…

この朝日新聞の広告記事は、朝日新聞デジタル(ウェブページ)にも転載されています。是非ご一読いただければと思います。→ <http://www.asahi.com/ad/shingaku2017/osaka-kyoiku/> (Y)

## 大阪教育大学のSNSアカウント



**公式Twitter** new

@OsakaKyoikuUniv

<https://twitter.com/OsakaKyoikuUniv>



**公式Facebook**

<https://www.facebook.com/OsakaKyoikuUniv>



**公式Instagram**

<https://www.instagram.com/osakakyoikuuniv/>

イベント情報やニュースなど、大教大の「今」を発信しています。ぜひフォローしてください。